

安全品質管理部  
部長  
おおじ ようへい  
**大路 洋平さん**

## 業務内容

私の担当業務は、安全管理と品質管理です。現場を巡回しながら、安全に作業を行っているか、作業環境が安全に保たれているかを確認するのが安全管理。また現場で当社の職人が行った施工が正当なものであったか、妥当な材料が使われているかを確認するのが品質管理です。

## 仕事で意識していること

第三者の目線で公平に判断することです。また休憩時間などを使って、現場の皆さんがあまり身構えず、できるだけフラットな状態で本音を話していただけるように心がけています。お客様と現場、双方の意見をしっかりと聞いたうえで判断することが大切です。



1つの仕事を達成するために、多くの人が関わっています。現場の裏で誰がどのような働きをしているのでしょうか？今回は、日々縁の下の業務に奮闘されている4名の方にお話を伺いました！

## 仕事のやりがい

元々建物が好きのため、京都芸術大学や京都美術館など、関西を代表する建物の建築に関われることに幸せを感じています。特に完成後は、一般の人がなかなか入れない珍しい建物の内部にまで入って見ることができるという点も、やりがいを感じるポイントです。

## 現場の方々へのメッセージ

いつもお世話になっている皆さんには感謝しかありません。これからどんどん寒くなっていきますが、体調や怪我には十分気を付けて、安全にお仕事に励んでいただきたいと思います。

## 業務内容

主に行っているのは、現場の段取り。元請けから工事を受注し、工事内容の打ち合わせをしつつ予算を決め、職人の方や材料を現場に手配しています。

## 仕事で意識していること

しっかりとコミュニケーションを取ることです。この部分を怠ると、現場の作業が間違った方向に進んでしまうことも。そうなる方向修正をするために時間や予算を浪費し、現場の方々の負担も大きくなります。無駄をなくすためにも、コミュニケーションはとても重要。こちらが伝わっていると思っても、実は伝わっていなかったということもあるため、定期的にお互いの認識が合致しているかを確認することも大事なプロセスです。

工事部  
おのうえ けんじ  
**尾上 賢司さん**

## 仕事のやりがい

やはり大きな現場が完成したときでしょうか。最後に現場を見渡すと、それまでの出来事が思い出され、充実感と達成感を覚えます。ときには「今度もまたお願いしますね」と嬉しいお言葉をいただけることも。お客様から、職人さんの仕事を褒めていただいたときも、大きな喜びを感じます。

## 現場の方々へのメッセージ

職人の方々がいてくださってこそ、私たちは仕事ができます。いつも本当にありがとうございます！無理なお願いをしてしまうことがあるかもしれませんが、今後もぜひお力添えいただけると幸いです。これからもよろしくお願いたします。



運搬部  
いしだ まさし  
**石田 正史さん**

## 業務内容

主に、天井の骨組みに使うものや石膏ボードなど、職人さんが注文された材料の配達、余剰材料の引き取り、倉庫の在庫管理や整理を行っています。



## 仕事で意識していること

急に材料が足りなくなったときに職人さんから連絡をいただき届ける必要があるため、可能な限り速く正確に配達することを意識しています。しかし、道路は常に渋滞しており、時間内に現場に着かなければならないのに、なかなか前に進まないことも。雪などの天候にも左右されるため、様々な悪条件を乗り越えて仕事を遂行せねばならず、大きな責任を負っていると感じています。私が休むと皆さんに迷惑がかかるため、健康面にも気を付けています。

## 仕事のやりがい

当社の配達担当者は私一人であるという大きな責任感が、やりがいにつながっているのではないかと思います。

## 現場の方々へのメッセージ

配達を依頼される際は、時間に余裕を持ってしていただきたいのが本音です（笑）もちろん、そうできない場合は、私も可能な限り速く配達するように頑張ります。しかし、さほど緊急性がないときは、できれば不足している材料に気づき次第、速やかに依頼するようお願いいたします！

## 業務内容

職人さんの手配や材料の仕入れなど、現場が滞りなく施工を進められるように段取りをしています。そのための打ち合わせや、見積もりの作成なども私の主な業務です。

## 仕事で意識していること

必ず工期を守ることと、職人さんとコミュニケーションを取りながら丁寧に仕事を進めることです。工期がずれることで、お客様や他の業者に迷惑がかり、その後の信用に関わります。また、現場が気持ち良く作業を進め、お客様にも喜んでいただけるよう、中立の立場で考えるようにしています。



工事部  
こじま じゅん  
**小嶋 潤さん**

## 仕事のやりがい

予定通りに工事を進められたときや、実際に出来上がった建物を見たときです。材料の仕入先の状況や、前の工程の進捗などの影響で計画通りに進まないことが多くあります。しかし、京都芸術大学などの大きな現場では作業を細分化することでなんとかやり切ることができたときには、とてもやりがいを感じます。

## 現場の方々へのメッセージ

いつも本当にありがとうございます。現場で作業をするうえでは危険が伴うこともありますが、常に健康と安全に気を付けてお仕事をしてください。今後ともよろしくお願いたします。



# 中村さんから盗む

# 「ワザ」

34年という長い職人歴に裏打ちされた、高い技術をお持ちの中村さん。社内でも特に「丁寧な仕事ぶり」で知られています。今回は中村さんに、仕事をするうえで絶対に欠かせないという作業や、常に良い技術を吸収していくために必要なことなど、丁寧な仕事ぶりの秘訣をうかがいました！

夏原歴 15年  
なかむら しげはる  
**中村 重治さん**  
(職人歴 34年)

## 丁寧な仕事のために意識していること

### 後工程に影響のないよう、見直しを徹底

作業後に見直し作業を行うことを徹底しています。現在は主に天井のボード貼りを担当しており、最終チェックの段階で仕上がりが良くなければ、もう一度やり直しています。確認作業を欠かさなくなったのは、若いころに後業者から受けた指摘がきっかけです。例えば、ボードに段差ができてしまっていると、次工程を担う塗装屋さんやクロス屋さんに影響が出てきてしまいます。当時の親方がそうしたことに厳しい方だったということもあり、一人で任される業務がある程度増えた、入社2～3年目ごろから特に意識し始めました。



## 丁寧さが活かされた現場

### 現場のコミュニケーションで乗り切った難しい工事

5～6年前に工事を担当した「ウェスティン都ホテル京都」での仕事は特に印象に残っています。現場はホテルということもあり、アールが多いなど、凝った内装が特徴。元請けさんからの要求も高く、難易度の高い工事でした。当時大切にしていたのは、現場でのコミュニケーションです。20名ぐらゐのメンバーで現場に入っており、職長を務めていた私。日々お客様からの要求を皆に伝えたうえで、皆からの意見を吸い上げて方向性を決めていました。より高い技術を必要とする前工程の段階から、「我々がどのように動いたらきれいに出来上がるか」を話し合っていました。私の持っている技術はもちろん、皆でアイデアを出し合い、力を合わせて工事にあたることができたと思います。結果的に元請けの方や設計の方から「思った通りのものができた！」とお褒めの言葉をいただき、とてもうれしく思いました。

## 丁寧な仕事をするためのアドバイス

### 基礎を固めようとして、吸収していく力

今取り組んでいる仕事に親方がいる方も、独立して仕事をしている方も、これまで教えてもらったことをベースに、いろいろなものを吸収しながら仕事をしていってほしいと思います。そうすれば、おのずと技術は伸びてくるでしょう。私も若手のころは親方や周囲に徹底的に仕事を叩き込まれました。いろいろ大変なこともありましたが、負けず嫌いな性格もあり、意地になって覚えてきました。ひとまず目の前の仕事に必死に取り組んで自分のものにすれば、あとは人の仕事を見て良い点は取り入れ、ダメな点は避けるなど、応用できます。夏原には技術力のある職人さんがたくさんいるので、そういった方を見ながら覚えていくことが大事なのではないかと思えます。そして技術を取捨選択する目を養うためにも、まずは基礎をしっかり固めてください。



## 皆さんへのメッセージ

現場は一人では回りません。皆で協力し合わないとは終わらないので、引き続き仲良く、また怪我をしないよう、これからも一緒に頑張っていきましょう！

## 現場概要

現場名 京セラ八日市工場 内装工事  
工期 2023年11月～2024年1月  
担当人数 協力会社含め8名  
場所 滋賀県八日市市

## 現場の特徴

他の現場に比べて、ラジオ体操をしっかりと行う現場です。集合が遅れた業者さんは、朝礼後に個別で体操を行うことも。しっかり身体をほぐすことで、朝からエンジン全開で動くことができ、怪我の防止にもつながっているのだと思います。

## 苦勞していること

### 自分が担って初めて知る職長の偉大さ

現場では下地班とボード班が作業をしているのですが、今はボード班の職長が他の現場の担当となり、私が代わりを務めています。その中で実感したのが、「いかに自分が職長に甘えていたか」ということ。今は、資材が足りているか、いつ何をどこに貼るのか、他の業者とバッティングしていないか、次に入る業者はどこかなど、すべて自分で確認と段取りを行っており、職長の偉大さを実感する毎日です。

## 夏原に入社してよかったこと

前職でも同じような仕事をしていたのですが、以前の会社は社員同士のコミュニケーションが活発ではなく、「技術は見て覚えろ」という社風でした。しかし、夏原では先輩や職人の方にいろいろ教えていただけて、本当に嬉しく思っています。ときには怒られることもありますが、叱咤激励と前向きに受け取り、今後も精進してまいります！

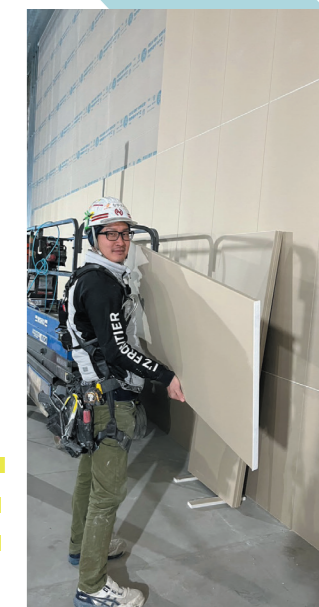
# 俺の現場紹介

皆さんが担当している現場を紹介してもらうこのコーナー！今回は長沢さんに、京セラ八日市工場の現場について伺いました。日々奮闘中の長沢さんが痛感していることとは一体……？

夏原歴：2年  
ながさわ ひろし  
**長沢 洋さん**

## 印象的なエピソード 覚えていてくれたことに心が温まる

ボードの作業が始まった際、以前他の現場で一緒だった業者さんが私のことを覚えてくださり、「長沢くんこっちに来たんやね」と声をかけてくださったのです。とても嬉しく思いましたし、前工程や後工程を担当くださる方とのコミュニケーションをとることの大切さを改めて感じました。



現場で働く長沢さん

## 同じ現場に携わる皆さんへメッセージ

健康な身体があつてこそその仕事だと思っておりますので、これからも安全第一で頑張りましょう！

スマホから読みたい方はコチラ！



ID  
natsuhara

パスワード  
4A#Du^